

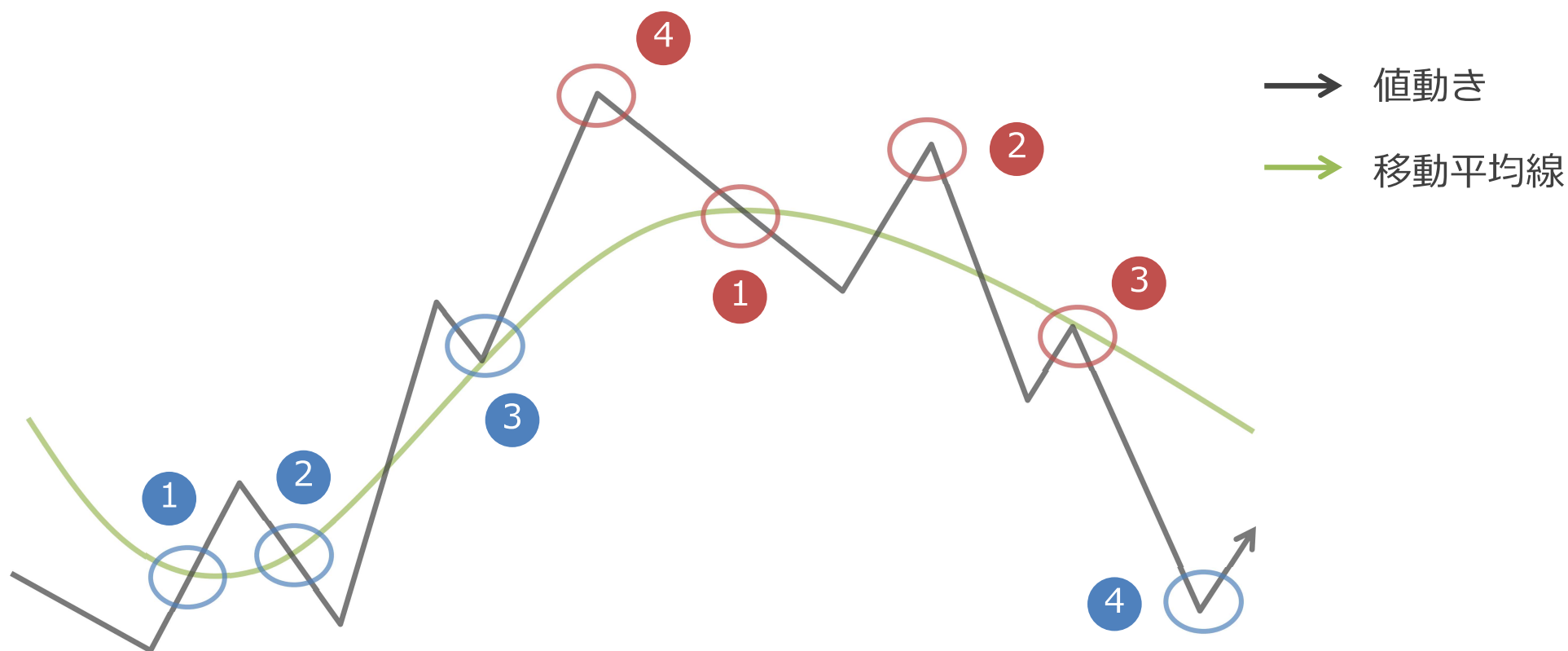
副業アカデミー FX講座

「グランビルの法則」

本道場へ参加された方への配布を目的としております。
無断での使用、転載などを一切禁じます。

グランビルの法則 とは？

グランビルの法則は、移動平均線を使った代表的なチャート分析です



移動平均線との位置関係によって、8つの売買ポイントがある

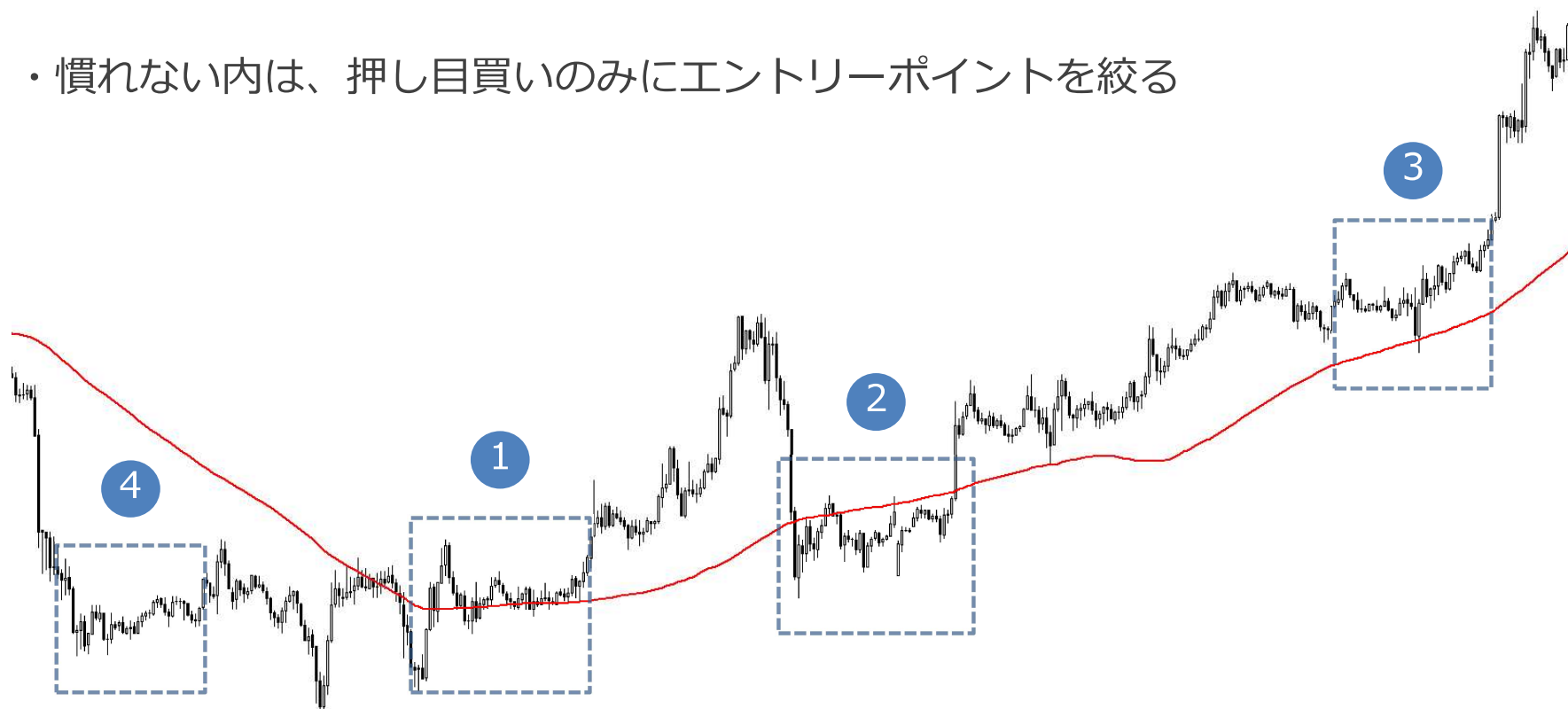
グランビルの法則からは、移動平均線を使った取引の売買ポイントが分かります。

また、トレンドの大小に関わらず、移動平均線との位置関係から同じような売買ポイントが常に意識されていることが分かります。

1. 買いのポイント

上昇トレンドの場合は、4つの買いポイントを目安にする

- ・慣れない内は、押し目買いのみにエントリーポイントを絞る

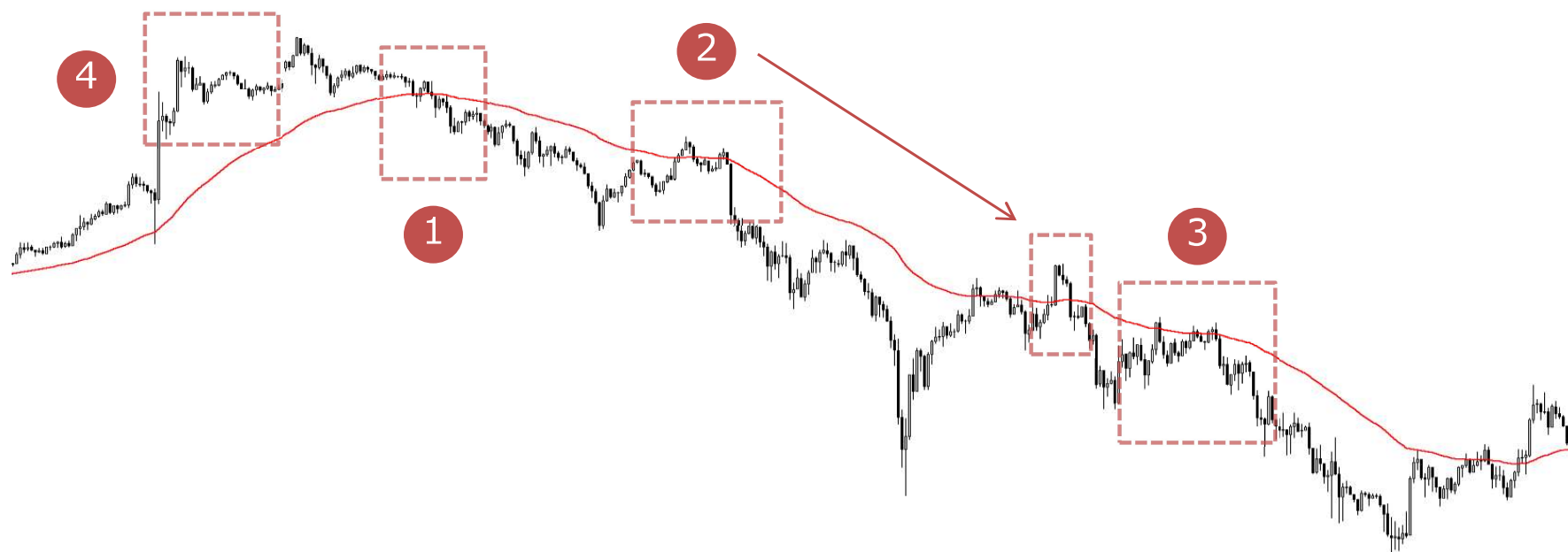


- | | | | |
|---|----------|--------------|----------------------------|
| ① | MA : 横ばい | 価格 : 上抜ける | → 打診買い [上昇トレンド初動] |
| ② | MA : 上向き | 価格 : 下で推移 | → 押し目買い [本格トレンド入り前] |
| ③ | MA : 上向き | 価格 : 反発上昇 | → 押し目買い [トレンド継続中] |
| ④ | MA : 下向き | 価格 : 大きく下に乖離 | → 逆張り買い [下降トレンド転換前] |

2. 売りのポイント

下降トレンドの場合は、4つの売りポイントを目安にする

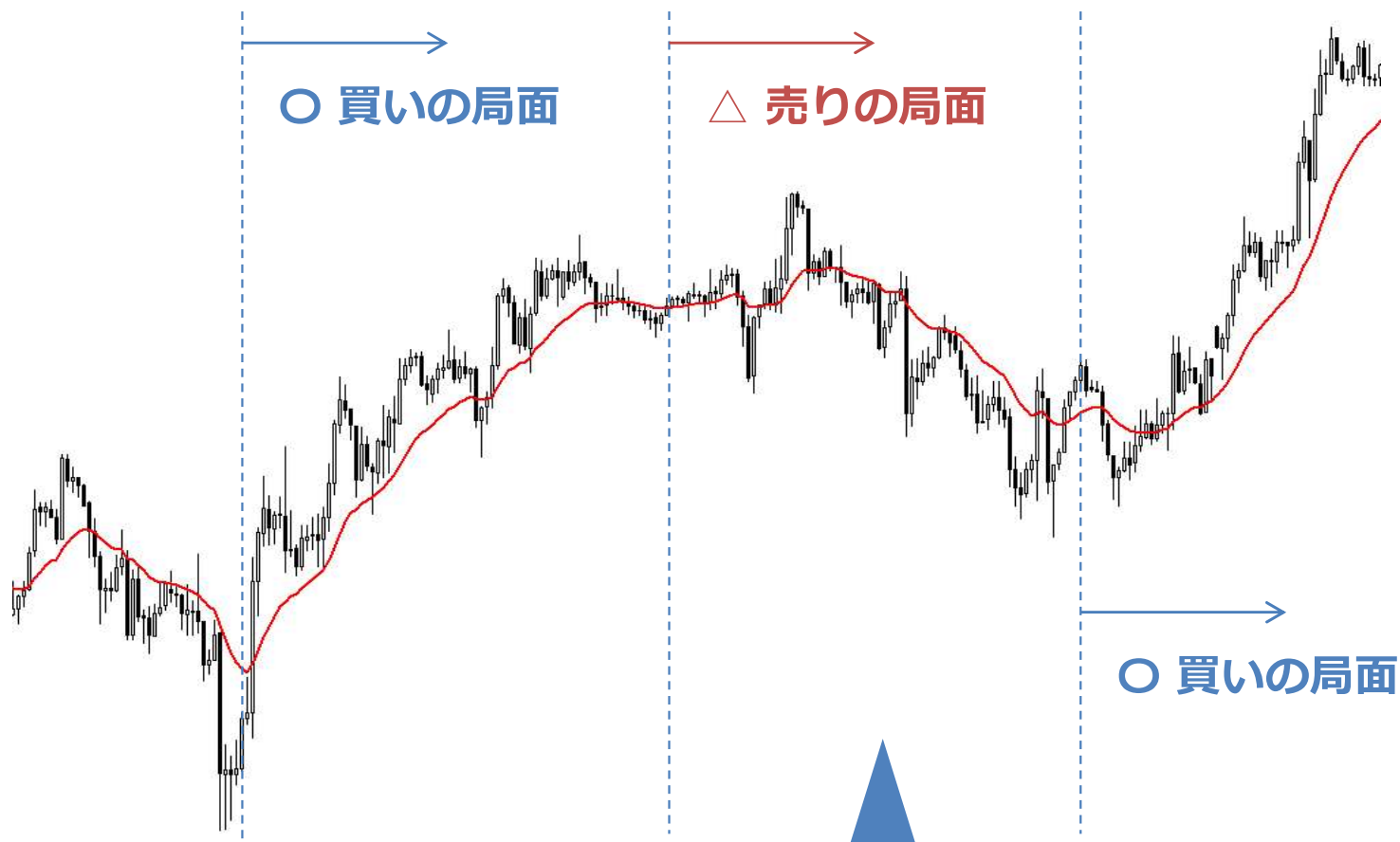
- ・慣れない内は、戻り売りのみにエントリーポイントを絞る



- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ① MA : 横ばい 価格 : 下抜ける | → 打診売り [下落トレンド初動] |
| ② MA : 下向き 価格 : 上で推移 | → 戻り売り [本格トレンド入り前] |
| ③ MA : 下向き 価格 : 反発下落 | → 戻り売り [トレンド継続中] |
| ④ MA : 上向き 価格 : 大きく上に乖離 | → 逆張り売り [上昇トレンド転換前] |

3. トレンド中の注意点

トレンド中は、原則トレンドフォローに従い売買する

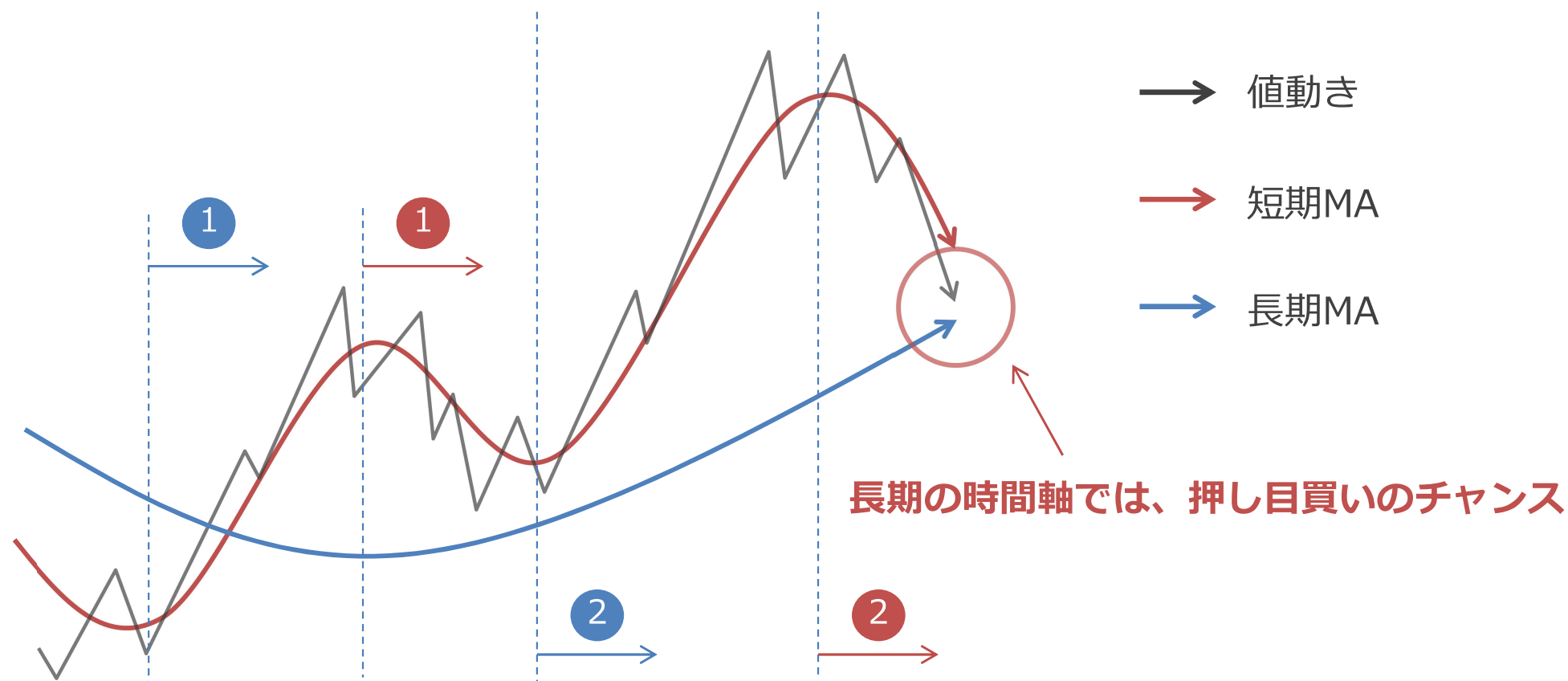


上昇トレンド中は、逆張り売りは極力避ける

4. 複数のMAからの判断

短期と長期の各時間軸で、グランビルの法則は活用できる

- ・ 複数のMAの見かたは、第3回「トレンドフォロー」を参照



- ・ 短期の時間軸では、買いと売りの局面を2週している
- ・ 長期の時間軸では、買いの局面に変化したばかり

- ① **グランビルの法則** | 移動平均線を使った代表的なチャート分析
- ② **買いのポイント** | 慣れない内は、押し目買いのみにエントリーポイントを絞る
- ③ **売りのポイント** | 慣れない内は、戻り売りのみにエントリーポイントを絞る
- ④ **ポジショントレード** | 多資金用意できて時間がとれない人向け
- ⑤ **トレンド中の注意点** | 原則トレンドフォローに従い売買する
- ⑥ **複数のMAからの判断** | 短期と長期の各時間軸で、グランビルの法則は活用できる

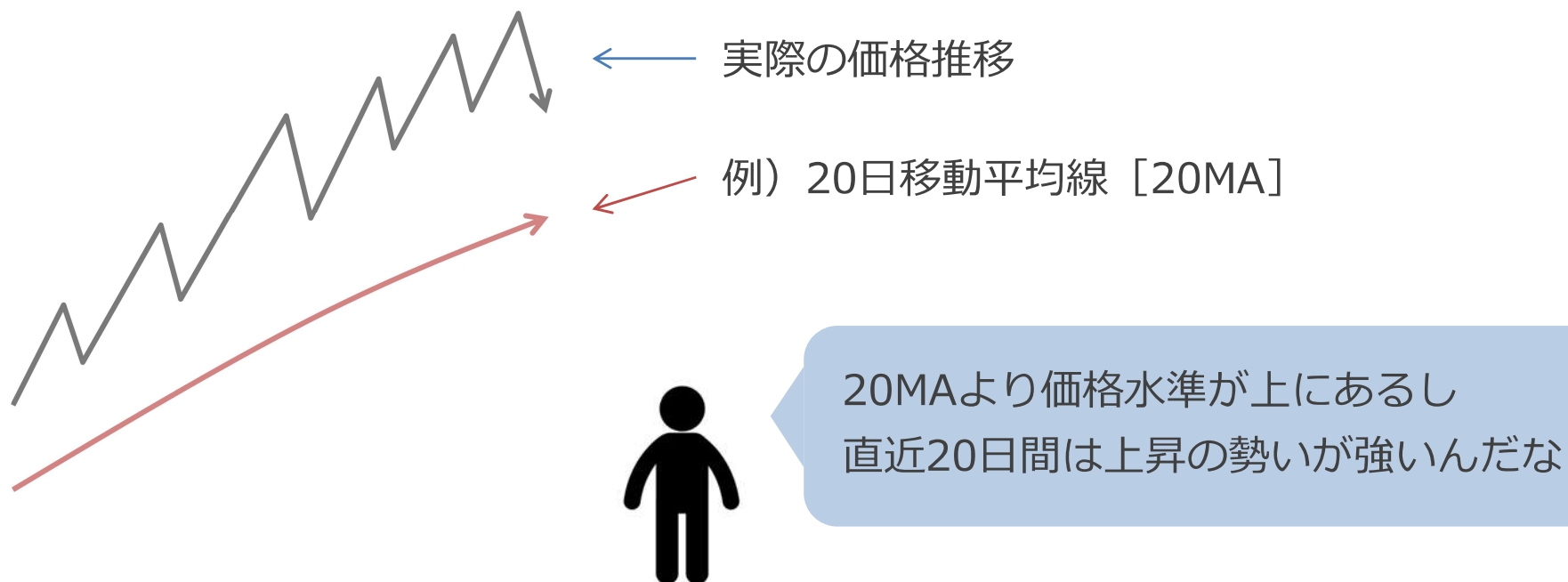
移動平均線

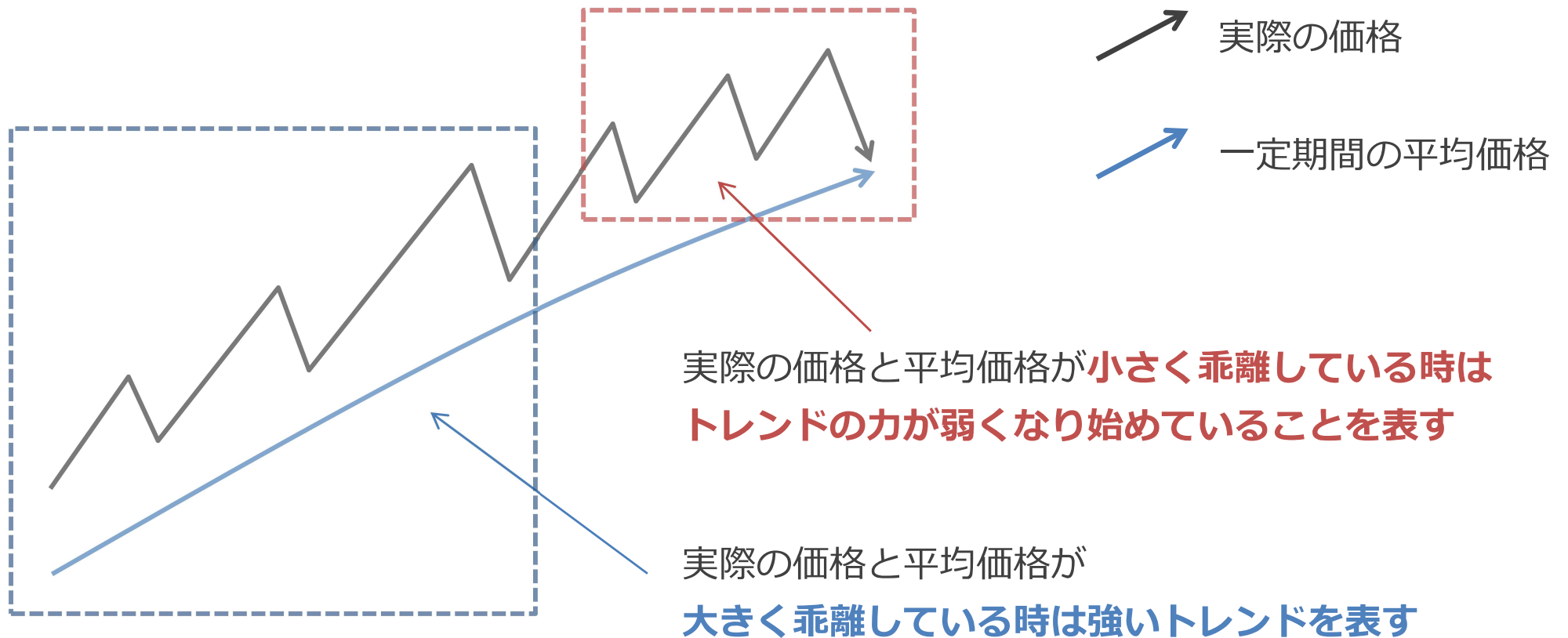
移動平均線 とは？

移動平均線は、一定期間の値動きを平均化した線

- ・一定期間の平均価格に対して、今の価格水準が高いのか、低いのかを判断する
- ・ Moving Averageを略して [MA] と表記される

移動平均線を使用すると、視覚的にトレンド判断ができるようになります





実際の価格と平均価格の位置関係で強弱を判断する

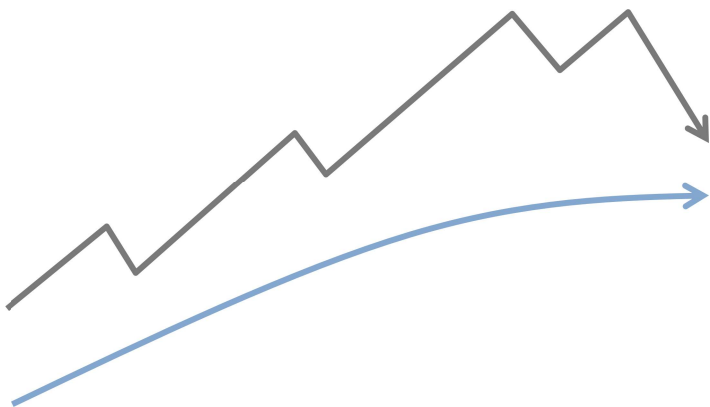
実際の価格が一定期間の平均価格より上にあれば、それだけ今の価格が平均価格を大きく上回る程の上昇をしてきていますので、相場の強さを確認することができます。

この平均価格を表す指標に「**移動平均線**」というものがあります。

使用する移動平均線の種類

SMA : 単純移動平均線

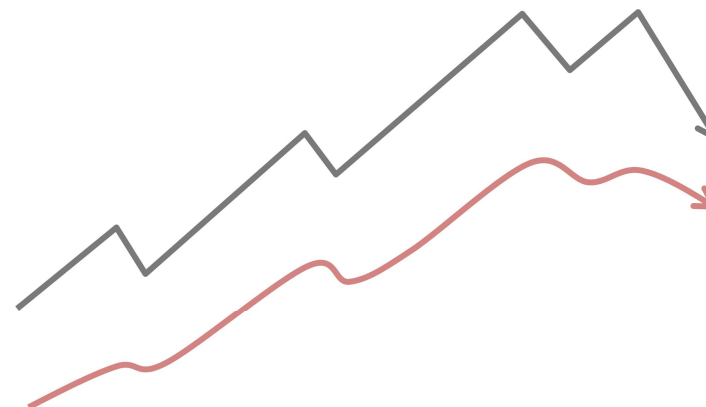
Simple Moving Averageの略



- ・ 大きい流れを平均化するのに向いている
- ・ 直近の値動きへの反応度は悪い

EMA : 指数移動平均線

Exponential Moving Averageの略



- ・ 直近の値動きに重点を置いて平均化
- ・ 直近の値動きへの反応度が速い

移動平均線は、平均化の際の計算方法によって色々種類がある

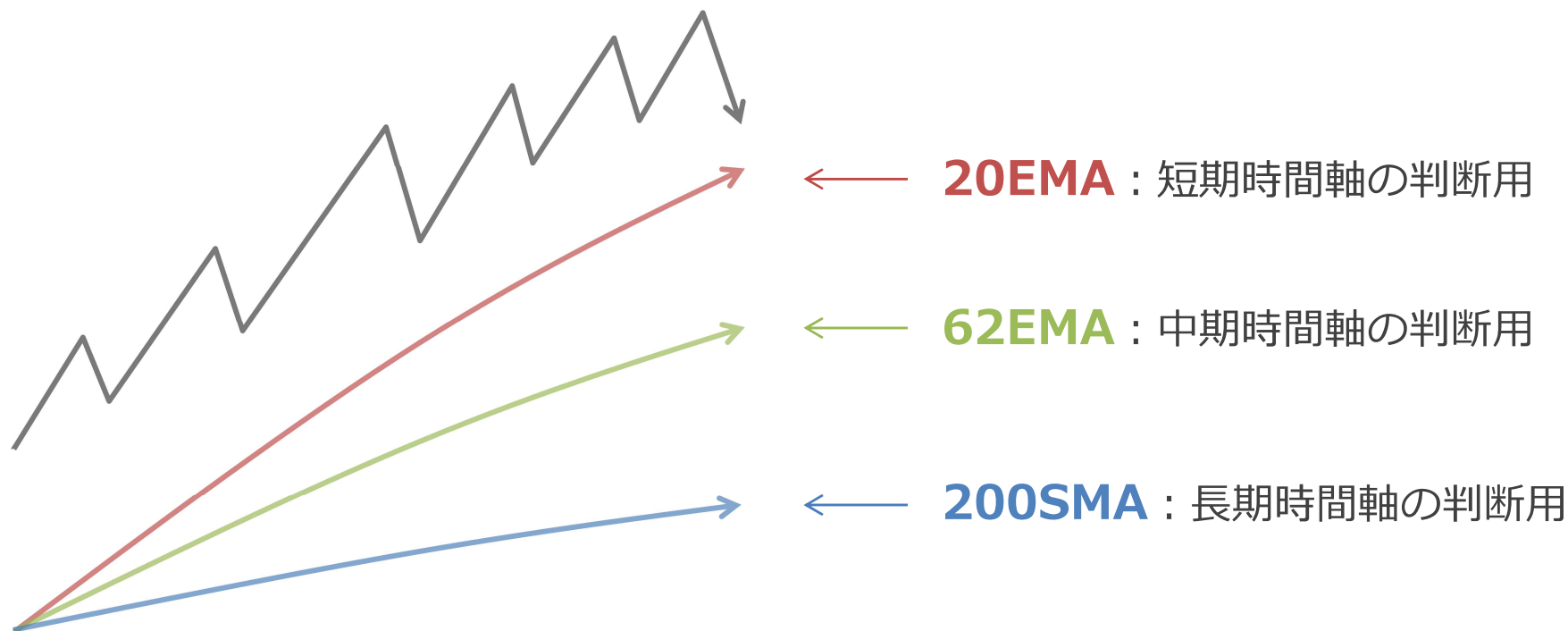
トレンドフォローで使用する移動平均線の種類は、SMAとEMAの2種類です。

大きな値動きの流れを読む用と、直近の値動きの変化に対応できる用、とで2種類です。

平均化する計算方法が違うだけなので、どちらが絶対正しいというのはありません。

移動平均線の表示設定

複数の移動平均線を表示する際、各線の色を変えると見やすい



※ 5分足の短期足の場合の例
13SMA、55SMA、233SMA

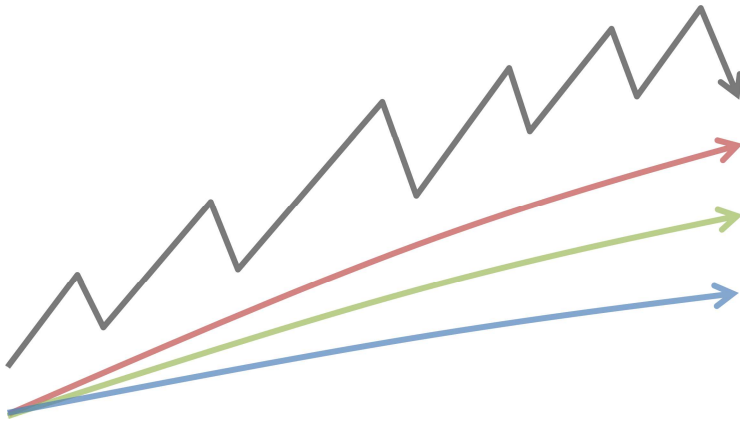
時間軸の設定は、長期・中期・短期と3つの時間軸で表示する

移動平均線は平均する期間が短い方が、直近の少しの値動きにも敏感に反応します。

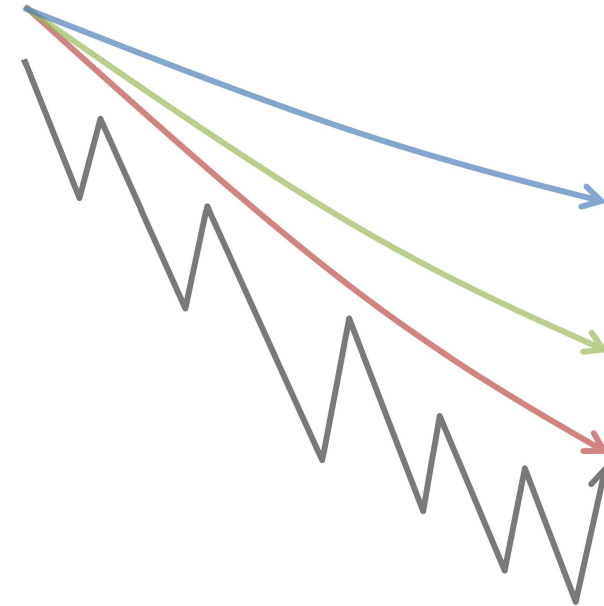
そのため、短期、中期、長期、の順番で値動きに反応して推移していきます。

移動平均線の見かた

移動平均線は、向きと角度に注目する



- ・各MAが上向きなら、上昇トレンド
- ・各MAの乖離が狭い場合は、勢いは弱い



- ・各MAが下向きなら、下降トレンド
- ・各MAの乖離が広い場合は、勢いは強い

移動平均線は、向きと角度に注目する

基本的な見かたは、各MAの向きでトレンドの方向、角度で勢いの強さ、を判断します。

各MAが絡み合ったりしてくると、各期間内でトレンドが一致しなくなっているため、値動きの勢いは減少し始めます。

強い



- ・各MAは上向きを維持している
- ・ローソク足は、短期MAより上にいる

緩やか



- ・短期MAが下向き推移を繰り返す
- ・短期MAと中期MAが、絡み合っている

下降トレンド

強い



- ・ 各MAは下向きを維持している
- ・ ローソク足は、短期MAより下にいる

緩やか



- ・ 短期MAが上向き推移を繰り返す
- ・ 短期MAと中期MAが、絡み合っている

緩やか



- ・ 長期MAが横ばい
- ・ 短期MAと中期MAが、絡み合っている
- ・ 価格が長期MAの上下で行き来する

乱高下



- ・ 長期MAが横ばい
- ・ 短期MAと中期MAが、長期MAの下で推移し始めている

移動平均線から見るトレンド転換



トレンドが本格的に転換するまで時間が掛かる

通常一度トレンドが発生すると、トレンド転換するまで時間が掛かります。

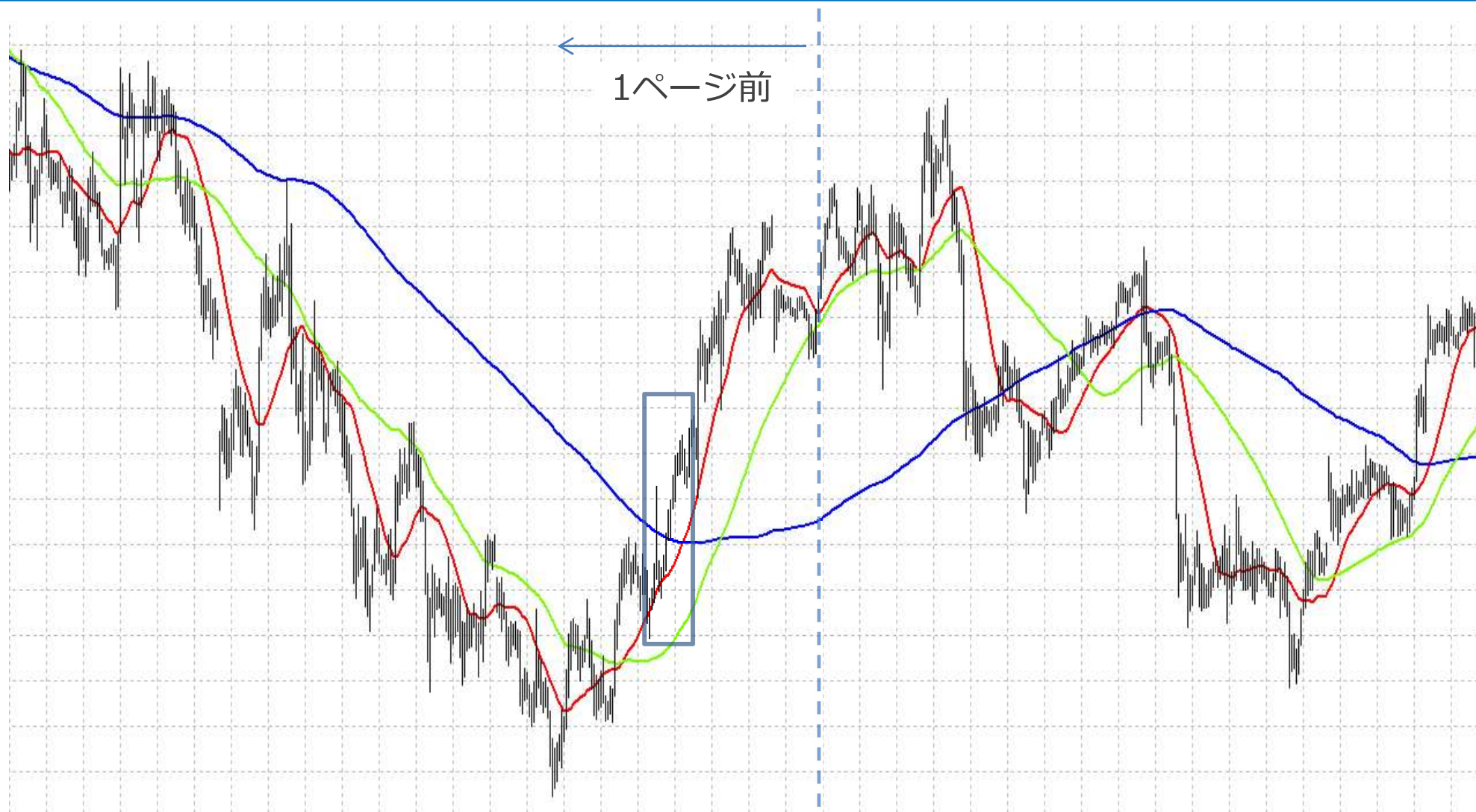
上記の4時間足チャートの例では、上昇トレンドに転換するまで20日前後掛かっています。

MAの向きが変化したらすぐトレンドが転換したと早急に判断しないようにしましょう。

補足 移動平均線の推移 1



補足 移動平均線の推移 2



長期MAの向きも上下に落ち着かず、ローソク足の動きは乱高下している
その後しばらくは、方向感のないレンジ相場の動きとなる

補足 移動平均線の推移 3



先程の不安定な動きから一転して、長期MAが上向きを維持し始めて強い上昇トレンドへ転換していている

- ① 使用する移動平均線の種類 | SMAとEMAの2種類
- ② 移動平均線の表示設定 | 長期・中期・短期と3つの時間軸で表示する
- ③ 移動平均線の見かた | 向きと角度に注目する
- ④ 移動平均線から見るトレンド転換 | トrend転換するまで時間が掛かる

